

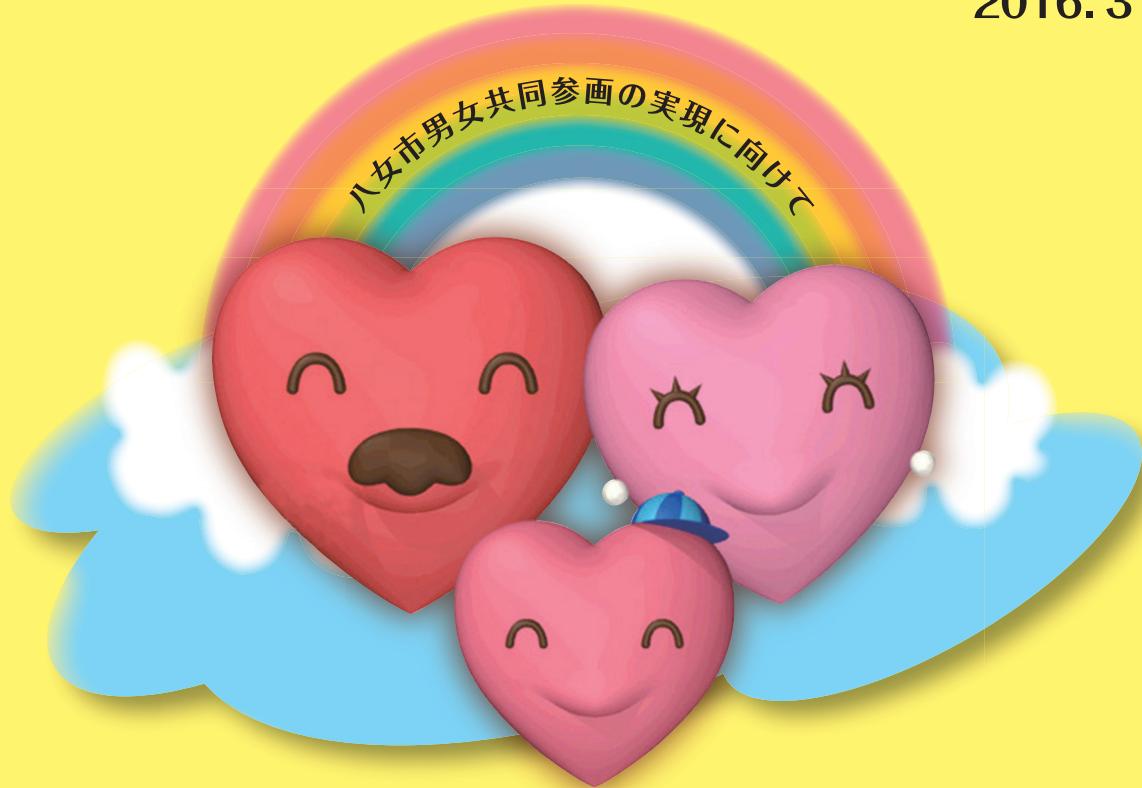


個性が輝く おんな & おとこ まちが輝く

とうぎやざー

みんな 仲良く 一緒に

2016.3.第14号



輝くひと

小川榮子さん（八女市黒木町）にインタビューしました！ … 2

- ☆簡単料理レシピ れんこんハンバーグ 3
- ☆男女共同参画のまちづくりに関するアンケート他 4
- ☆男女共同参画推進団体の活動報告・男と女の川柳・編集後記 5~6



情報誌「とうぎやざー」は、男女ともに個性と能力が十分に発揮できる八女市を願って名付けました。

輝くひと

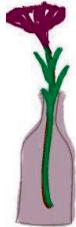


小川栄子さん

長年にわたり女性問題や老人問題等に関わっておられ、40代の頃、介護が必要となった父親の生活をサポートする中で、足りない知識や情報を求め、東京都社会事業学校で1年間学ばれました。

約10年前まで東京都に在住。夫の仕事の関係で、夫の実家のある黒木町に住居を移されました。現在は、黒木町の男女共同参画活動の助言や、農産物の直販を通して販路拡大にも力を注がれています。

取材日 2015.11.12



Q 東京都社会事業学校とはどのような学校ですか。

A 都立の専門学校で、リカレント教育（再教育）の場です。定員50名のところに3倍もの希望者がいましたから、入学試験がありました。

生徒には様々な人がいて、講師、生徒ともにそれは熱心でした。そこで、福祉、医療、女性問題等の勉強をしました。（現在は閉校しています。）



A Q 卒業後、就職はいかれましたか。

A 卒業後はさらに大学の講義に通い、仕事としては、東京都福祉局や東京都老人総合研究所に非常勤で45歳～58歳まで勤務しました。

Q どのような仕事をされましたか。

A 現在の介護保険制度や、前の前のゴーリドプランなどの基礎となる調査やデータを作りました。世帯訪問調査や面接調査、心理面接が主な仕事でした。また、ボランティア活動や社会福祉法人運営にも役員として関わってきました。

Q 具体的にどのような活動をされましたか。

A 電話相談や高齢者給食、障害者支援、留学生のホストファミリー、人材育成のためのセミナーや講座の企画運営などです。

Q 特に印象に残ったことはありますか。

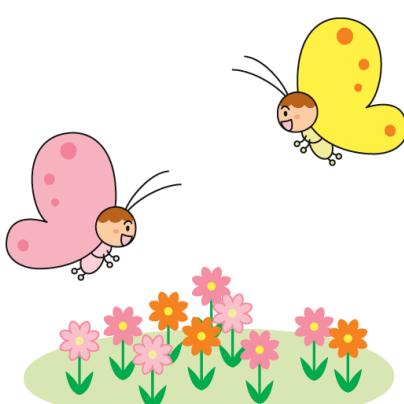
A 仕事やボランティア活動を続けていく中で、例えば一人暮らしのお年寄りの約80%、老人ホーム入居者の85%は女性であることから、「高齢者問題は女性問題である」という課題をレポートし、世田谷区より推薦を受けて「社団法人 国際女性教育振興会」主催の海外派遣に参加し、アメリカ東部・南部28日間の日程で視察研修しました。この時、アメリカの人種問題、職業、階級などの差別を目の当たりにしました。

もう一つ忘れることが出来ない活動として、台湾台北市に日本語のデイサービスセンターの立ち上げに関わったことは、台北の歴史を学ぶ機会にもなりました。多くの仲間やグループ活動において、戦後の「日本婦人有権同盟」、「地婦連」、「主婦連」活動に参加した先輩との出会いや学びの機会を得られたことは、今の私に大きな影響を

与えていたと思います。

Q 黒木町はどうのような印象ですか。

A 様々な活動は、長年にわたって築かれた文化だとは思いますが、住民の方が「受け身」の姿勢であることが気になります。女性を見ていると、謙虚で控えめ、余計なことは言わない。これは美德のようですが、「ハガ茶」や「あまおう」などの農産物を輸出し、輸入品を購入する今の時代、他国と競争しないかねばならない時、控え田は通用しないので、「孫」「子」の時代のためにも積極的に自分の存在を示せるようになってほしいと思います。課題解決に向けた話し合いの場で、積極的な発言や主張をして、目的意識を共有して欲しいと思っています。



団体解説



※1

「社団法人 国際女性教育振興会」

男女共同参画アドバイザー海外視

察研修・国内研修事業を通じて、地域

社会に国際的視野を持つ人材育成を

図ることを目的として男女共同参画

社会が実現し、グローバルな時代に相

応しい社会の構築をめざす。

「日本婦人有権者同盟」



戦後初の自主的な女性団体。194

5年（昭和20年）に市川房枝を会長

に婦人参政権の獲得と、これを有効に

行使することを目的として設立され

た。市川房枝は大正から昭和にかけて

女性参政権獲得運動をした婦人運動

家、政治家。

※3

「全国地域婦人団体連絡協議会」

略称、全地婦連。通称、地婦連（ち

ふれ化粧品の名前の由来は地婦連か

らきている）。地域の女性団体の連絡

協議機関として、1952年（昭和27

年）に結成された。初代会長は、高山

しげり。全国の女性組織中最大の規模

で、50都道府県市の女性団体を下部組織として、約500万人が加盟店。（2

002年）

いです。
また良いアドバイスをお聞きした

※4

「主婦連合会（主婦連）」

1948年（昭和23年）に、しゃもじとエプロン（割烹着）を旗印に、

不良品追放や、「主婦の店」（生協の前身）選定運動を全国展開した消費者団

体。奥むねおが議員活動のかたわら主婦連合会の初代会長となり、1956

年（昭和31年）主婦会館を建設し、

消費者、婦人運動を終生指導し続けた。

取材を終えて



れんこんハンバーグ

細かく碎けばもちつとした食感に。
おおざっぱに碎けばサクッとした食感になる。



材料（4人分）

合いびき肉………200g
れんこん…………200g
卵……………1個
しょうゆ…………大さじ1
塩、こしょう…………各少々
サラダ油…………大さじ1
ポン酢、おろし大根、貝割
れ大根、ミニトマト…適宜

作り方

- ① れんこんはビニール袋に入れ、麺棒などで荒く碎く。
- ② ボウルに①とひき肉、卵、調味料を入れてよく混ぜる。
- ③ ②を円盤型に丸め、油を熱したフライパンで両面をこんがりと焼く。器に盛り、好みでおろし大根とポン酢、野菜を添える。

碎き加減で好みの食感に！

かぼちゃのスープ



女もする料理といふものさ

簡単料理 レシピ

男もしてみむとて、するな

材料（4人分）

かぼちゃ……………1/4個
玉ねぎ……………1個
バター……………大さじ1
牛乳……………3カップ
塩……………小さじ1/2～1
こしょう…………少々



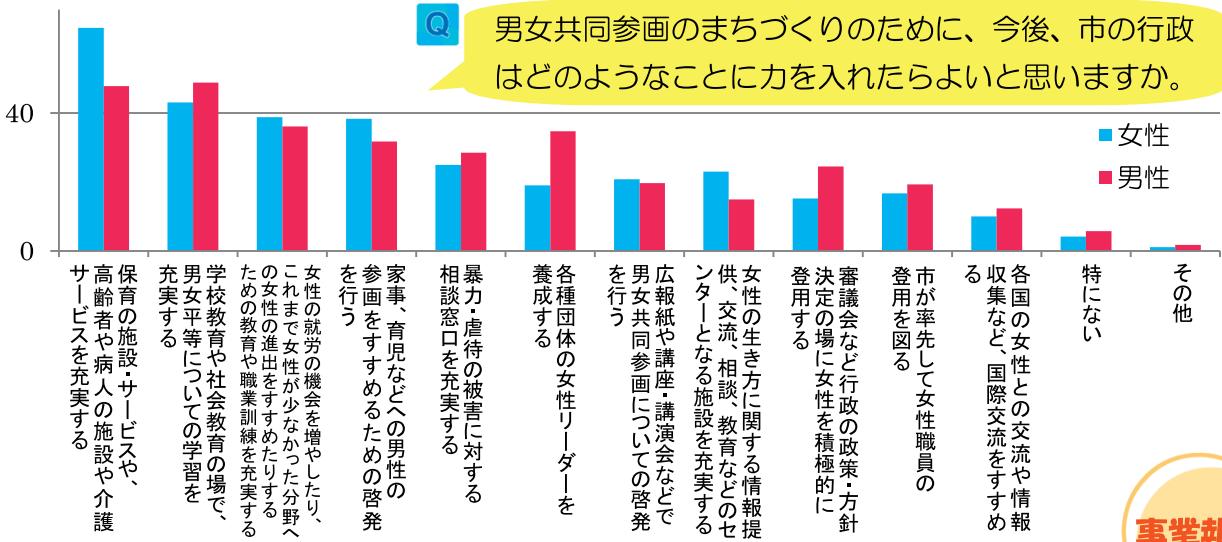
作り方

- ① かぼちゃ、玉ねぎは薄切りにする。
- ② フライパンにバターを溶かして玉ねぎを炒め、かぼちゃも入れてさっと炒めたら、水1/2カップを加えて蓋をし、蒸し焼きにする。
- ③ かぼちゃが柔らかくなったら火を止め、つぶす。
- ④ 牛乳を注いでよく混ぜ、塩、こしょうで調味する。

男女共同参画のまちづくりに関するアンケート結果報告②

男女共同参画に関する市民の意識を調査し、今後の施策の参考とするため「男女共同参画のまちづくり」に関するアンケート」を昨年5月に実施しました。

「男女共同参画のまちづくりのために、今後、市の行政はどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。」



決のための様々な事業を実施するようになります。計画につきましては、策定後、皆様へお知らせいたします。

アンケートを踏まえ、第4次男女共同参画行動計画（平成28年度～32年度）の計画を策定中で、課題解

事業報告

男女共同参画セミナー

男女共同参画セミナーを昨年11月11日と25日に開催しました。

講師は福岡ジェンダー研究所の高木里美さん。第1回は「輝くわた

じでいるために」をテーマに参加者同士で語り合いながら男女共同参

画の基礎を学びました。参加者の声

「家庭の中には思いやりありがとうの気持ちを持って、お互い協力し合うように

するというま

くいく」「お互いを尊重していきた

い」と思いました

」「暴力のな

ども達へ」「データロボについて考

える」をテーマに「DV・データDV

はじのようなものか」ということ、そ

して私達にでもないことを学びました。参加者の声「DV、データDVの理解がより深まりました。もっと勉強せねばと思いました。」

★参加者の声は一部を紹介しています。



正しいパンツのたたみ方!

12月12日に男女共同参画啓発講

座を開催しました。講師は大阪府立八尾北高等学校の家庭科教諭南

野忠晴さん。《講演の内容》自分が正しいと思っている価値観を無理に相手に押し付けていませんか？

パンツのたたみ方に正しさは要らない。いろんな人、いろんな考え方、生き方がある。自分で様々な生き方を認めたり、尊重したりするこ

とが大切。それができる人は人生で何が起きてもスイッチを切り替えて歩んで行ける。心が折れない強い人。多様性を持つて自分なりのやり方を見つけていって欲しい。この他、

子どもの手伝いや廃用症候群のことなど内容の濃い講演会でした。参加者の声「生きていいくのは、とっても大変だなあ」と感じることが

多くなった時でしたので、これ

からの私の生き方との接し

かたの私の生き方と人の接し

かたの私の生き方を学ばせて頂

ける貴重なお話を聞きました。



昨年10月13日に大分県日田市大山町の「木の花ガルデン大山本店」を視察しました。光友・辺春・白木・北山より45名の参加者で、バスの中は各地区の情報交換の場でもあります。

研修では、女性の力を活かした取り組みについて説明していただきました。「大山バラダイムを築け!」をスローガンに大山ブランドを強化しながら農業体験、里山散策を取り入れ、桃源郷を夢みて、昨春、「五馬媛の里」をオープンされました。話を聞く中で、ハ市の基幹産業の農業こそが正に男女共同参画の視点が一番活かせるのではないかと思いました。生産プラス女性の視点での商品企画、アイデアを生み出しお話題を重ね、様々なことに挑戦できます。今後私たちが強く意識していくことは、夢・目標を設定すること。「これは全ての事業に共通する一番大事な」とではないでしょうか。

男女とも歳を重ね、得た知識を如何に活用するかが問われていると思い研修を終えました。



先に逝く男」と題して、男女共同参画の老後・隠居文化と戦えという内容の講演をいただきました。

男女とも歳を重ね、得た知識を如何に活用するかが問われていると思い研修を終えました。

「出来ること」「出来ない人が」「出来ること」をモットーに、地域を愛し、いかに支え合つ豊かな地域社会を創り出すことを念頭に事業の開催を自ら計画・実行しております、「地域づくり活動」を開催しています。

まず、黒木支所前の「なかた花公園」は、苗定植、草取りと地域の方々の協力を得て、年間を通して活動しています。



また、黒木大藤まつりに協賛し、まちなみ交流館「松木邸」に於いて、ボランティアの方々の協力により「わくら茶屋」を開店しており、地元食材で「だし汁定食」を提供しています。8回目の昨年はリピーターも増え、旅行会社の予約もいただきました。



オープニングでは、日常生活にありがちなことを題材にした「寸劇」を披露しました。その後、中嶋玲子さんを講師に「楽しく暮らせるまちにく世代をこえ 差別をこえ」と題して講演をいただきました。その中で、思い込みと既成概念にとらわれず、「自分たちの地域は自分たちで変えていくことの大切さ」について熱弁されました。

参加者からは「今日は参加してよかったです」との声をいただきました。今後、もっと参加者（男女とも）が増えると、もっと楽しく暮らせる町になると感じました。



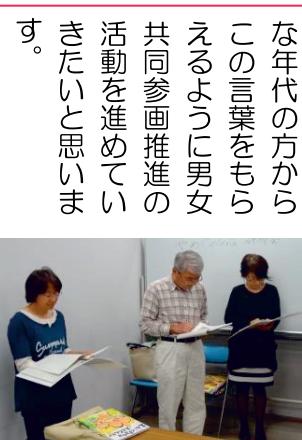
昨年11月8日、「男性も女性も楽しく暮らせる町に」をテーマに、上陽町男女共同参画セミナー2015を開催しました。

一昨年、昨年と二年続けて「ハ女性青年サークル」の方達と意見交換をする機会を得ました。昨年



内容は、トイレスの掃除は女性だけに押し付けられていておかしいのではないか、同僚男性のお茶を入れるのも片付けるのも女性で、平等ではないか等々。「それではいけない」と啓発するつもりだったのですが、「そんなことはないです」との意見がありました。

10月の交換会では「職場編」の紙芝居を観てもらいました。内容は、トイレスの掃除は女性だけではありません。市青年サークルの方達と意見交換をする機会を得ました。昨年



「ていへばーと」は、男女共同参画の考え方を、自作の紙芝居公演で、広く市民の皆さんにお伝えする活動をしています。

共同参画推進の活動を進めていきたいと思います。



矢部地域づくり協議会は、住民が主体となって地域づくりを進めることを目的に平成22年に発足しました。この中の村づくり部会では、平成26年度から男女共同参画推進の取り組みとして、誰もが一緒に気軽に「集える場を提供しようと、2年にわたり「地域づくりコンサート」を開催しました。「ご夫妻で音楽活動をされている深町宏さん、まだかさんを矢部公民館に招いて、サックスやフルートの演奏と講演をしていただきました。家族や友達と一緒に、身近な所で生の演奏を聴きながらの優しいひとときは地域の皆さんに大変好評で、とてもやりがいを感じた取り組みでした。

矢部地区はお年寄りだけの世帯が多く、市の中心部での行事には地理的にも参加しにくいのが現状です。男女共同参画に対する関心もまだ決して高いとは言えませんが、こうした参加しやすい活動かや自發的な活動に繋げていら家庭や地域での意識啓発や自發的な活動に繋げています。

古野さんは事前に「男女共同参画」について資料や書物を調べたけれど、よくわからなかつたと話されていましたが、



なでしこの会では、毎年、講演会を行っています。今年は1月13日に行古野隆雄さんを招いて開催いたしました。「アイガモ水稻同時作」による完全無農薬有機栽培で著名な古野さんは、日本だけでなく、韓国、中国をはじめ、世界各国で「アイガモ農法」の普及に努められています。

古野さんは事前に「男女共同参画」について資料や書物を調べたけれど、よくわからなかつたと話されていましたが、講演では事例の間に「男女共同参画」を引用され、私たちの活動を冷静に見つめることができました。安心・安全な食べ物を消費者に届けていることや、無農薬栽培のために農機具会社を巻き込んで研究開発を繰り返している苦労話、彼の農業を支える家族の話は通じるところがたくさんありました。



以下は今年度の主な活動です。

- ★児童養護施設園長講話 5月
- ★構成団体代表者会 6月
- ★県議会傍聴 7月
- ★DV防止のための講演会 9月
- ★ハ女市議会出前講座 10月
- ★ネットウォーキング 10月
- ★あすばるフォーラム参加 11月
- ★男子厨房に入ろう 1月

男女が輝くネットワークハ女 現役世代減少を乗り越えるには、若者や女性が活躍できる社会づくりが緊急の課題となります。あれまでは、男性中心の制度や、社会通念、労働環境でしたが、このままでは持続可能な社会の構築ができません。人口の半分を占める女性が社会の様々な分野において、参画し、活躍していく必要があります。

私たちは「ハ女市男女共同参画のまちづくり条例」を地域に生かすという目的で、様々な活動を行っています。昨年度からは特に「女性と子どもの貧困問題」に焦点を当てています。

私たち「ハ女市男女共同参画のまちづくり条例」を地域に生かすという目的で、様々な活動を行っています。昨年度からは特に「女性と子どもの貧困問題」に焦点を当てています。



男と女の川柳



ありがとう口では言えず手を合わせて妻子旅インフルエンザの俺置いて

今まで寝夜までテレビ定年夫



編集後記

昨年6月17日に18歳選挙権の成立が可決されました。(世界の8割が選挙権18歳以上だと
か)。

初めての選挙は明治23年、国税を15円以上納めている全体の約1%の人しか投票できなかったものでした。大正14年には25歳以上の男性が選挙権を得、20歳以上の男女すべての国民が選挙権を得たのは昭和20年のことでした。今回の選挙権の年齢の改正はなんと70年ぶりの出来事なのです。

M・H

ありがとう口では言えず手を合わせて妻子旅インフルエンザの俺置いてありがとうございました。選挙の歴史を改めてひも解いてみれば先人の苦労を感じ、権利の重要性を考えさせられ、一票の大切さを痛感しました。